

スペイン内乱文庫のデジタル資料(新聞・雑誌記事)利用開始

スペイン内乱文庫とは？

スペイン内乱文庫は、本学イスパニア語学科故ソペーニャ教授が長年かけて収集した1930年代のスペイン内乱に関連した資料です。

洋書約5,300冊、和書約300冊のほか、当時の雑誌も収集されています。

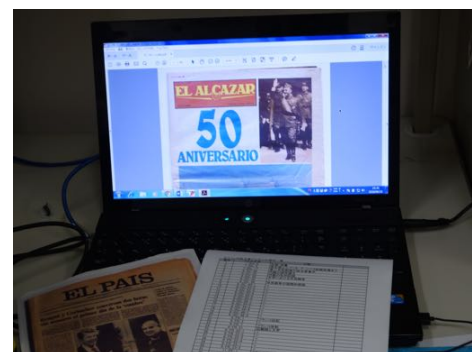
スペイン国内で希少になっている資料も多く備えており、「市民戦争の国際的側面」、「フランコ:伝記、体制、回顧録、文学、死後」「スペイン共産党」「憲法」「経済」「自治州:マドリッド、カタルーニャ、バスク」などのテーマごとに分類され、日本のスペイン歴史研究に大きく貢献しています。



オープン書庫の書籍

デジタル化した資料

資料の中には、スペインや日本の新聞・雑誌の切り抜き等、図書として登録不可能なものが約2万点あります。経年劣化に伴い、これら紙の資料をPDFファイルとしてデジタル化しました。これにより、今まで非公開だった資料がヨーロッパ研究所内のPCで閲覧できるようになりました。当時の世論を知る上で非常に貴重な資料です。



どなたでも利用できます！

当研究所内に設置してあるコンピュータから閲覧・印刷できます。

キーワードによるOCR検索も可能です。操作方法については、研究所スタッフまでお尋ねください。

